

保護者様

丹波市立春日部小学校

令和3年度 学校評価アンケート集計結果について

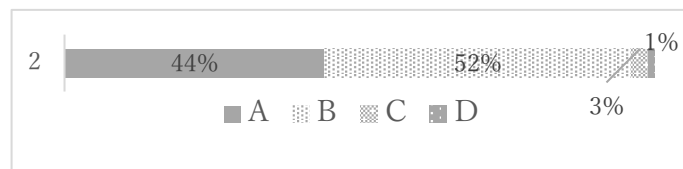
昨年の11月末から12月初旬にかけて実施しました学校評価アンケートの集計結果をご報告させていただきます。

今年度の保護者アンケートは、全校生 101 名に実施し、回収率は、96%となりました。また、同時期に児童にもアンケートをとりました。その結果を、今年度新設した項目、回答が A(そう思う)か B(大体そう思う)を選んだ方と C(あまりそう思わない)か D(思わない)を選んだ方をそれぞれ合計し、肯定的な回答が 95%以上のもの、昨年比±5%以上違う項目についてまとめております。内容をご確認いただきますと共に、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちを育ていけるようご支援をよろしくお願いいたします。

保護者アンケートより**◇新設した項目について**

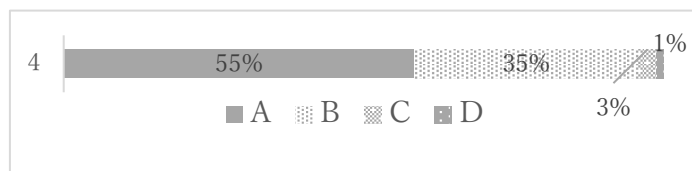
2. 学校は、子どもが楽しく学校に通えるように、生活指導上の問題解決(いじめ・不登校等)や未然防止に努めている。

- ・肯定的な回答が 96%と高い割合であった。
- ・いじめアンケートや日々の見取り等が活用できているのが良い結果につながっていると考えられる。来年度も楽しい学校になるよう全職員で共通理解を図り、問題解決や未然防止に努めたい。



4. 子どもは、学校の様子を話していますか。

- ・肯定的な回答が 90%と高い割合であった。
- ・コロナ禍ではあったが、どの学級でも仲間づくりに重点を置いて学級づくりを進めたことで、学校での楽しい出来事を話す意欲につながったと考えられる。教職員は、学校の様子を積極的に通信などで伝えていきたい。



12. 学校は、タブレットPC等のICT機器を活用した学習を進めるとともに情報モラル指導を行っている。

- ・肯定的な回答が 91%と高い割合であった。参観日や家庭学習等での様子から、機器活用の様子がよく伝わっていると考えられる。今年度は、ネット上でのトラブルも無かった。スマホ・ケータイ人権教室や各学年に合わせた情報モラル学習を通して、未然防止につなげていきたい。



13. 学校は、全てのこどもの教育ニーズに応じた個別最適な指導の充実に努めている。

- ・肯定的な回答が 93%と高い割合であった。
- ・児童一人ひとりをしっかりから見取り、それに応じた指導ができていると感じていただけている。職員間の連携を図り、ユニバーサルデザイン化に取り組んでいることや、二人体制の授業、のびのび教室やひょうごがんばりタイムで学習できることが評価され、今後も継続していきたい。



14. 学校は、人権教育(ジェンダー平等を含む)を推進するとともに、一人一人のよさやがんばりを認めている。

- ・肯定的な回答が 95%と高い割合であった。
- ・学校朝会や道徳、総合的な学習の時間など、人権啓発の機会を多く持っている。素直な児童が多く、人権感覚が育ってきていると感じる。教職員も職員研修などの機会を捉え、資質向上に努め、温かい言葉が心地良いことを指導してきた。これからも全職員で全児童を見守り、一人ひとりの良さや頑張りを認めていきたい。

○肯定的な回答が増えた、または 95%以上のもの

5. 学校は、子どものことで相談しやすい。

(電話、連絡帳、教育相談、個別懇談、専門機関の紹介等)

- ・肯定的な回答が 96%と高い割合であった。
- ・日々の電話連絡や連絡帳でのやり取りの他、教育相談や個別懇談等の機会を利用して有意義な話し合いができたと考えられる。来年度も保護者や児童の話をよく聞き、願いを受け止めながら、信頼関係づくりに努めたい。

6. 学校は、地域とともにある学校づくりを進め、教育の充実に努めている。

- ・肯定的な回答が 97%と高い割合であった。
- ・地域の方々が学校に関わっていただけるように地域全体にサポートスタッフを募集した。多くの方が登録していただき、読書ボランティア・登下校のサポート・ゲストティーチャーとしてお世話になっている。学年毎に地域と関わるふろさと学習を取り入れ、児童が地域を知るきっかけづくりをしている。

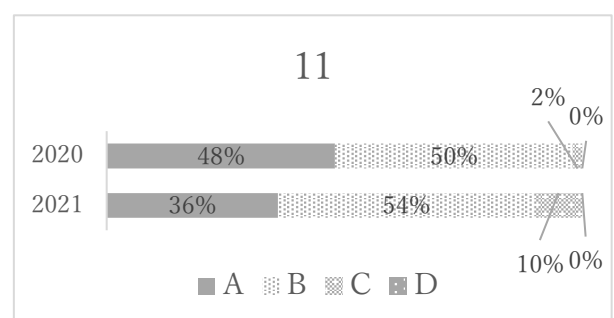
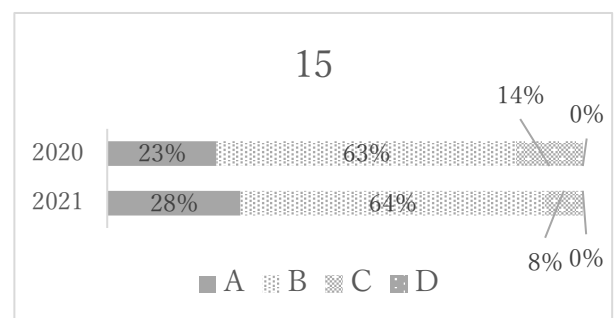
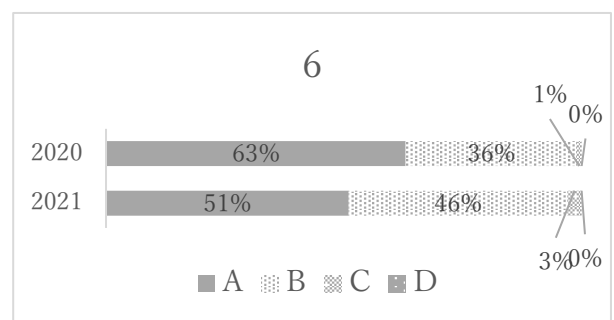
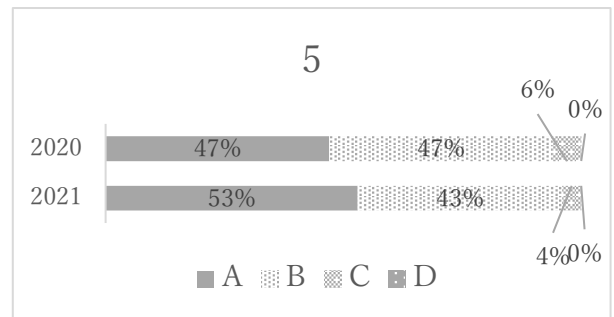
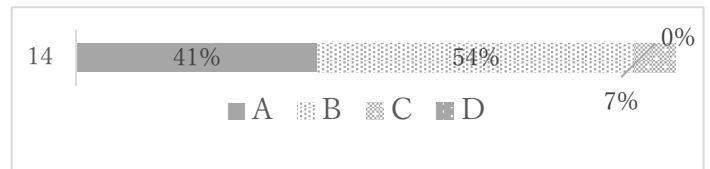
15. 子どもは、互いの違いやよさを認め合い、相手を思いやる言葉づかいをしている。

- ・昨年度に比べて 7%アップ(86%→92%)
- ・「みんなちがって、みんないい」という個性を認め合う感覚や「されて嫌なことはしない」という人権のベースが根付いてきたと考えられる。これからも多様性を認め合い、人権に敏感な感覚や視点を持たせていきたいと思う。

△肯定的な回答が減ったもの

11. 学校は、子どもが「わかった・できた」が実感できるように、授業の仕方や内容・学習形態等を工夫している。

- ・昨年度に比べて 8%ダウン(98%→90%)
- ・参観日の実施が1回しかなく、授業の様子を参観できる機会が少なかった。
- ・児童アンケート「授業中にわかった・できた」と感じられたと回答した児童は、全校生で見ると 95%と高い割合であり、昨年度比+2%であった。児童の授業での感じ方と家庭学習の様子にズレがあると考えられる。家庭学習の仕方などについて、今以上に保護者の方との連携を図っていく。



児童アンケートより

◇新設した項目について

3. 家で学校の様子を話しますか。

・肯定的な回答が 82%であった。しかし、「そう思わない」と答えた児童も2%いる。

・積極的な対話ができるよう期待したい。

6. 宿題や自主勉強など自分から、進んで学習していますか。

・肯定的な回答が 80%であった。

・決まった時間に家庭学習をする習慣を定着させることが大切である。また、方法や内容などの改善が図れるよう、今以上に保護者と連携を図っていく。

8. 授業中、先生たちは、分かりやすく教えてくれますか。

・肯定的な回答が 93%と高い割合であった。

・授業中に「わかった・できた」と感じられると回答した肯定的な回答も 95%と高い。高学年は、教科担任制を目指した試みやのびのび教室で学習するなど、様々な教師が関わっており、児童の意欲的な学びに繋がっている。

11. タブレットを学習に、役立てていますか。

・肯定的な回答が 91%と高い割合であった。

・昨年度1月末より、1人1台タブレットを使えることになり、健康観察や授業で活用した。

・タブレットの効果的な活用について、さらに研修を深め、児童の意欲的な学びや学力の定着に繋げていきたい。

12. 人権教育(ジェンダー平等など)について、家で話をしますか。

・肯定的な回答が 58%、肯定的でない回答が 42%であった。

・何気ない会話の中に、人権教育の視点は含まれているがはっきりと認識できていないのではないだろうか。学校であったことや、テレビや本など日常の中にある小さなことから会話を広げたり、深めたりしてほしいと思う。

15. 友だちと、仲良く生活していますか。

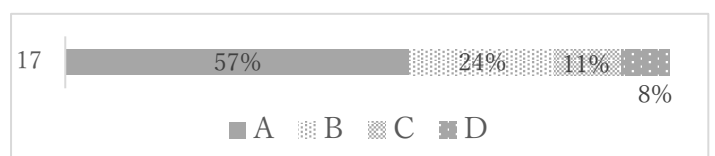
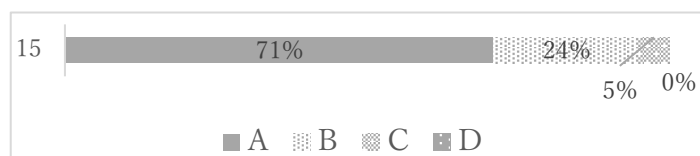
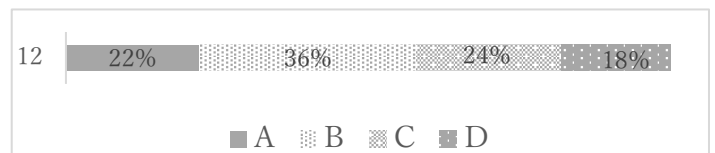
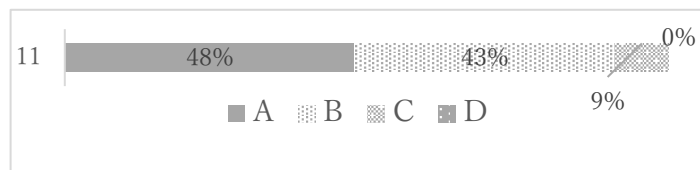
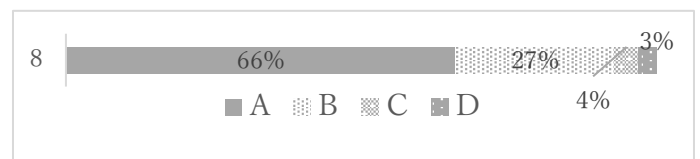
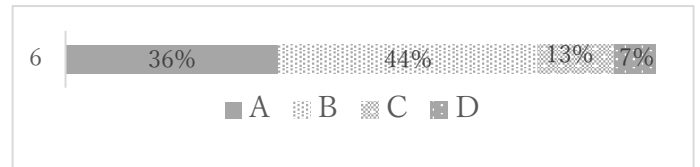
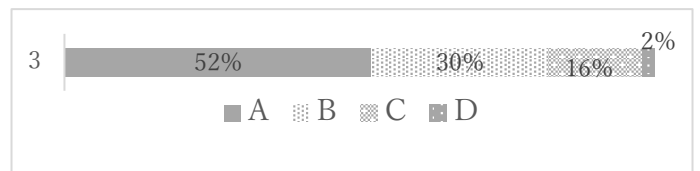
・肯定的な回答が 95%と高い割合であった。

・コロナ禍であっても2学期末には「なかよし班遊び」が何度かできた。様々な場面で学年に関係なく、互いに関わり合って仲良く学校生活を送っている。

17. 将来の夢や目標は、ありますか。

・全国学力・学習状況調査の質問紙では、全国平均を下回っていたが、全校生における肯定的な回答は、81%であった。

・学校でキャリア教育を推進するとともに、学習面や生活面のがんばりを認め、自信が持てるように教師も心がけていきたい。



○肯定的な回答が増えた、または95%以上のもの

9. 授業中に、「わかった・できた」と感じられますか。

・昨年度と比べて2%アップ。肯定的な回答が95%と高い割合であった。

・自学、自走できる力の育成を目指し、主体的に学び合える授業ができるよう取り組んでいきたい。

10. 授業中に、自分の意見を進んで伝えていますか。

・昨年度と比べて5%アップ。(68%→73%)

・児童の実態に応じて、ノートに書く文の量を軽減し、授業に集中して取り組める環境を整えたり、「個人で」「小集団で」「タブレットで」「教師と」など自分で学び方を選択させ、個別最適化を目指した授業を行ったりしたことによって自分の意見を持てた。今後は、豊かな表現力を身に付けさせたい。

13. 先生に褒められたり、励まされたりしますか。

・昨年度と比べて、14%アップ(73%→87%)

・教師が、褒める意識を高くもち、関わっている。また、高学年の教科担任制を目指した試みやのびのび教室など多くの教師と関わる機会も増え、褒めてもらう機会が多くなった。

19. 学校やクラスをよくするために、進んで行動していますか。

・昨年度と比べて、20%アップ(65%→85%)

・児童会や6年生から発信された取り組み(あいさつ運動、シャッフル遊びなど)を、例年より多く実施した。委員会活動の内容についても再点検し、児童がより有用感をもって主体的に活動できるよう支援していきたい。

△肯定的な回答が減ったもの

5. 学校や家、地域で、自分からあいさつをしていますか。

・昨年度と比べて、6%ダウン。(94%→88%)

・昨年度は、「自分からあいさつしていますか」との設問だったが、今年度は、「学校や家、地域」という言葉を付け足した。そのため、大きくダウンしたと考えられるが、学校内でのあいさつする様子を昨年度と比べると、自分からあいさつする児童が増えているように感じられる。家や地域でのあいさつについても、家庭や地域と連携しながら自分からあいさつができる児童を増やしていきたい。

7. 学校や家ですすんで読書をしていますか。

・昨年度と比べて、7%ダウン。(62%→55%)

・市で取り組んでいる「読書マイスター」には20人が認定された。読書離れが進んでいる訳ではないと考える。家庭とともに読書の魅力を伝えるとともに、読書できる環境づくりを進めていきたい。

